

奈良先端科学技術大学院大学への
入学を希望される皆様

国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学

平成 30 年度からの 3 研究科の統合について

本学では、先端科学技術の基盤となる「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の高度な専門性を身に付ける教育に加え、社会が求めるこれらが融合した研究分野の教育を展開するため、平成 30 年 4 月に、これまでの 3 研究科を統合し、新たに「先端科学技術研究科（仮称）」を設置する計画を進めています。

平成 30 年度入学者の募集は、平成 30 年度学生募集要項に則り、現在の 3 研究科でそれぞれ実施しますが、平成 30 年 4 月からの 3 研究科の統合が認可された場合、平成 30 年度入学者は、先端科学技術研究科（仮称）に入学することとなります（平成 30 年度募集人員に変更はありません。）。

[改組計画内容]

- ・これまでの「情報科学研究科」、「バイオサイエンス研究科」及び「物質創成科学研究科」を統合し、新たに「先端科学技術研究科（仮称）」を設置する。
- ・博士前期課程では、教育プログラムとして、以下の 7 つのプログラムを提供する。

情報理工学プログラム（情報）
バイオサイエンスプログラム（バイオ）
物質理工学プログラム（物質）
情報生命科学プログラム（情報・バイオ）
バイオナノ理工学プログラム（バイオ・物質）
知能社会創成科学プログラム（物質・情報）
データサイエンスプログラム（情報・バイオ・物質）

7 つの教育プログラムは、これまでの情報・バイオ・物質に係る専門性を深める「情報理工学プログラム」、「バイオサイエンスプログラム」、「物質理工学プログラム」と、新たに情報・バイオ・物質が融合した研究分野に係る専門性を学ぶ「情報生命科学プログラム」、「バイオナノ理工学プログラム」、「知能社会創成科学プログラム」、「データサイエンスプログラム」で構成される。

裏面に続きます

[本学入学時の措置]

- ・ 入学者は全員、「先端科学技術研究科」の下に設けられた研究室に配属される。
- ・ 研究室配属先は、

- ・ 平成 29 年度に「情報科学研究科」で受験した者は、平成 30 年度の入学後は、原則として、現在の情報科学研究科に属する研究室
- ・ 平成 29 年度に「バイオサイエンス研究科」で受験した者は、平成 30 年度の入学後は、原則として、現在のバイオサイエンス研究科に属する研究室
- ・ 平成 29 年度に「物質創成科学研究科」で受験した者は、平成 30 年度の入学後は、原則として、現在の物質創成科学研究科に属する研究室

の中から、学生の希望等を踏まえて決定する。

なお、博士前期課程入学者において、受験した研究科と異なる研究科に属する研究室への配属を希望する場合は、面談・試験等による選考を経た上で、当該研究室に配属する。

- ・ 博士前期課程入学者においては、研究室配属後、指導教員による履修指導等を経て、7つの教育プログラム（別紙裏面参照）のうちから希望する教育プログラムを1つ選択する。
なお、配属された研究室により、選択できる教育プログラムには制限がある。

[留意事項]

- ・ 平成 31 年度入学者選抜試験からは、1 研究科として選抜試験を実施する予定。

この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって認可されるものであり、変更になる場合があります。確定した内容は、大学設置・学校法人審議会の審査結果通知後に本学ホームページ等で発表しますので、あらかじめご承知おきます。